

## I 類 論文課題

### 【建築】

近年、気候変動の影響により、世界各地で気象災害が発生しており、地球温暖化対策は世界共通の課題となっています。我が国も2050年のカーボンニュートラルの実現を目指し、温室効果ガスの削減に取り組んでおり、住宅や建築物の省エネ化・脱炭素化のさらなる推進が求められています。

また、国内においても同様に、自然災害が頻発化、激甚化しています。中でも、地震災害は発生予測が困難なため、これまでも耐震対策の重要性が叫ばれてきましたが、熊本地震、能登半島地震では、住宅・建築物の倒壊により多くの人命が失われ、救助活動にも支障をきたしたため、防災減災に対する一層の取組が必要です。

加えて、住民同士が相互に支え合い、命を守る行動が被害の軽減につながった事例も多数報告され、地域の絆を深める防災まちづくりの重要性も再認識されています。しかしながら、住民の高齢化により、コミュニティの維持が困難な地域が増えている現状を踏まえると、地域の実情に応じた対策が求められているところです。

人口減少が進む中、拡大型ではない新たな都市像を描く必要がありますが、住宅の数は増え続け、空き家の増加も社会問題化しています。

現代社会においては、格差や分断が広がっているという見方もあり、SDGsの「誰一人取り残さない」という考え方は大切な視点であり、子育てや介護がしやすい環境づくり、様々な事情により住宅の確保が困難な人などに寄り添う温かみのある行政が求められています。

そのような中、デジタル技術の普及により、私たちの働き方、住まい方は大きく変わろうとしています。デジタル社会の進展は、私たちを取り巻く様々な社会課題の解決に大きく寄与する可能性があります。

以上のことを参考に、県民一人一人が安全に、安心して、長く元気に、そして心豊かに暮らせる社会を目指して、あなたが住宅・建築・都市行政において取り組みたいことを述べなさい。